



しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい
～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

学力調査結果について

今年度の学力調査結果についてお知らせします。長崎市の小学校は、次の学年が学力調査を受けることになっています。今年度は5月に実施されました。

3年生	全国標準学力調査	国語・算数
4年生	全国標準学力調査	国語・算数
5年生	長崎県学力調査	国語・算数
6年生	全国学力調査	国語・算数

3・4・6年生は全国平均との比較、5年生は県平均との比較をしてみると、次のようになりました。

3年生	国語	○	算数	◎
4年生	国語	○	算数	○
5年生	国語	◎	算数	◎
6年生	国語	◎	算数	◎

1～5ポイント上回っているものを○で、5ポイントよりさらに上回っているものを◎で示しています。

ご覧のとおり全ての学年、全ての教科で平均を上回っています。高学年はかなり高い数値を示していることが分かります。素晴らしい結果です。これまでも常に平均を上回る結果を示しており、山里小学校の特色といえます。

なぜ、本校の学力調査の結果は高いのか？

私は【女子循環】が生じているからだと思っています。

つまり、学校教育と家庭教育とが両輪となって機能していることと、学習指導と生徒指導が両輪となって機能していることです。

ご承知のとおり、子供たちの育ちと学びの成長の場は、学校だけでも、家庭だけでもありません。地域社会も含め、社会総がかりで行われるものです。

その中でも、家庭の教育力の高さは本校の強みです。学校の教育活動に協力的であること、忘れ物が少ないこと、家庭学習が定着していること、提出物が揃うこと、それぞれの家庭で特色ある教育が行われていることを感じます。家庭教育のベースがあるからこそ、学校での生活や学習がきちんと成立するのです。

本校の教員は皆、それぞれの持ち味を生かした学級経営や授業を展開しています。子供たちに確かな力を身に付けさせるために、研鑽を深めています。学年の違いや経験年数に関わらず、互いの授業を開き合い、自らの指導力を高めることに真摯に向き合っているのです。

家庭と学校の両輪が子供たちを真ん中においてバランス良く回転しています。その潤滑油は「信頼」だと感じています。

また、「ワンストップ先言後礼」「もくもく清掃」「授業前の黙想」などの生活面が安定していることも、学習効果に結び付いています。6年生の修学旅行で感じた「時間を守る行動」も同様です。総じて「素直さ」があるのです。

伝統的な「平和教育」が基盤にあるからでしょうか、「正しいことを求める精神」が根付いていることも日々感じています。

もちろん課題がないわけではありませんが、今の「好循環」を保ちつつ、さらに質の高さを求めて、子供たちの教育に全力を注ぎます。